

今年も目指そう 1等比率90%以上!!

平成29年3月11日
 いなば農業技術者協議会
 ○事務局【JAいなば営農生産課】
 小矢部市赤倉97 TEL67-8000
 【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300
 【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600
 ○高岡農林振興センター 26-8480

稲作管理情報 第1号

高品質・良食味なメルヘン米生産は、**土づくり、健苗育成** から!

1 春の土づくり

土壌改良資材や有機物の継続的な施用による「土づくり」に取り組み、気象変動に強いメルヘン米生産に努めましょう。

◎土壌改良資材(ケイ酸・アルカリ)の施用

資材名	10a当たりの施用量
カリ入元気	60kg 以上
有機カリ入シリカロマン	80kg 以上
元気	45kg 以上
けいさん鉄・ケイカル(粒)	100kg 以上
省力ケイカル(粒)	45kg 以上

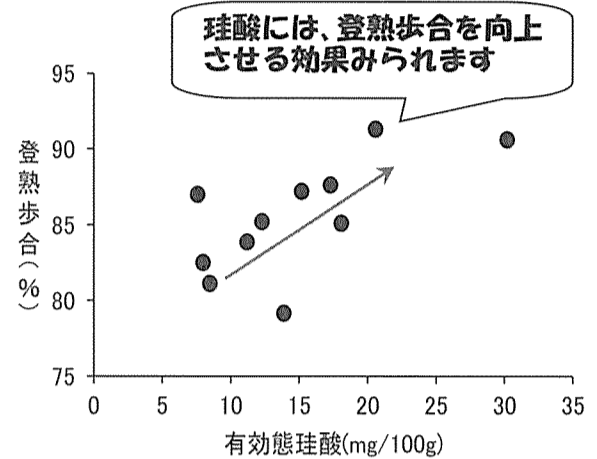


図 有効態珪酸と登熟歩合の関係

◎有機物の施用(春散布の場合:いずれか施用)

堆肥の種類	10a当たりの施用量	10a当たりの基肥減肥量(目安)
発酵鶏糞	75~100kg	窒素分で1~2kg
牛糞堆肥	1t	窒素分で1~2kg
籾殻堆肥	2t	減肥不要

有機物を積極的に施用しましょう!

※堆肥を春施用する場合は、土質や地力を考慮し、基肥量を調整(減肥)してください。

2 育苗計画 ~計画的な播種作業で健苗育成~

近年、コシヒカリの田植時期が早回る傾向にあります。適期の田植えに努めましょう。

平地でのコシヒカリの田植えは5月15日を中心に設定し、
 浸種は4月15日頃、播種は4月25日頃を目安に行いましょう。

①育苗日数は20日間を基本としましょう。

育苗日数が長くなると、徒長苗や老化苗につながり、初期の強勢な分けつの発生が少なくなります。
 (右図参照)

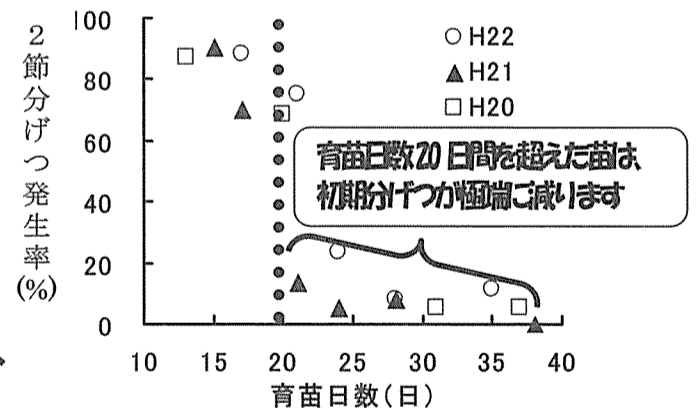


図 育苗日数と初期分けつの関係

②田植日に合わせ播種日を設定しましょう。

播種が早いと、田植時期を遅らせても結局老化苗となり、出穂も早回り、遅植えの効果がありません。

◎計画作成例【コシヒカリ(平地):5月15日田植えの育苗計画】

4月														5月																			
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
浸種(7日間程度)							タフブロック		陰干し		播種		出芽		搬出		育苗(播種日含めて20日間)												田植え				
・浸種水温は10~15℃を確保							種子消毒								※ハウス内の温度が30℃以上の場合、速やかに換気する。																		
・浸種積算温度は100℃以上を確保																	(緑化)		(硬化)		夜間も換気を行う												

裏面へ続く